

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2011 WINTER 143 - Japan



林 正樹

「手とスカラーポルトの組合せで力
を出し、複雑回路にてアーフト」と
思われるのだが、どちらかのす
じみた能力がおおむね大きめ。
回路は、アイドルを中心にしてアーフ
アモルフィンの運びだよ。高音



FURUTECH
CF-201(R)
CF-202(R)
VIDEO / PHONO (2種)
WIRE / LINE (2種)

フルハーフ部門

（左）（右）ハーフケーブルの各種
バランス端子との組合せで、スリーブ
カーテーブルカーネルに注目的な
表現を実現しているが、それを駆使して
アーフトのCF-201（R）とCF-202（R）
ナノウルトラ・スロット（R）があれ
いすれもカーネルワイヤーハーフケーブル
ダブルバランス端子（R）を使用
したこのあたりのティッシュ。ステ
ンレスを含む他の鋼の組合せによる振
盪音のカーネルアーフト化は、上げ
を施したもので、セシターンをテ
ープを解説時に実験的手段を取ら
れ、得た結果を可視化して、その
結果を示す。

● パンダグ・ステッレス合金削り出しホーリングファイバー ● コンポクト型二重絶縁端子 ● ケーブル接続部・接線部をこれまで以上に使いやすさを追求